

記者発表（発表）				
月／日（曜日）	担当課・係	TEL	発表者名	その他 配布先
1月28日（火）	文化財課 文化財班	(内線)5762 (外線)078-362-3783	課長 山下 史朗 副課長 甲斐 昭光	洲本市

ひょうご歴史研究室 in 淡路島＋淡路島日本遺産海人の調査研究事業Ⅲ

「古墳時代の淡路島と大阪湾岸～海人の生業・習俗・地域間交流～」

について

1 発表概要

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室と淡路島日本遺産委員会は、古代の大阪湾岸と淡路島の海人の生業・習俗や、地域間交流について共同研究しています。シンポジウムでは、その成果を考古学と文献史学の双方の立場から発表・討議し、淡路島古代史の魅力に迫ります。

2 開催日時等

開催日時：令和2年2月1日（土） 13時～16時30分（正午開場）
 会場：洲本市文化体育館文化ホール（洲本市塩屋1-1-17）
 主催：兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室、淡路島日本遺産委員会
 後援：兵庫県立考古博物館

3 入場料

無料

4 内容

講演①「漁具からみた大阪湾岸と淡路島の海人」

和田 晴吾（兵庫県立考古博物館長）

講演②「記紀の「^{さおねつひこ}棹根津日子」伝承と大阪湾岸のウミガメ」

坂江 渉（ひょうご歴史研究室研究コーディネーター）

パネルディスカッション

パネリスト 和田 晴吾・坂江 渉

金田 匡史（洲本市教育委員会生涯学習課文化振興係担当係長）

司会コーディネーター

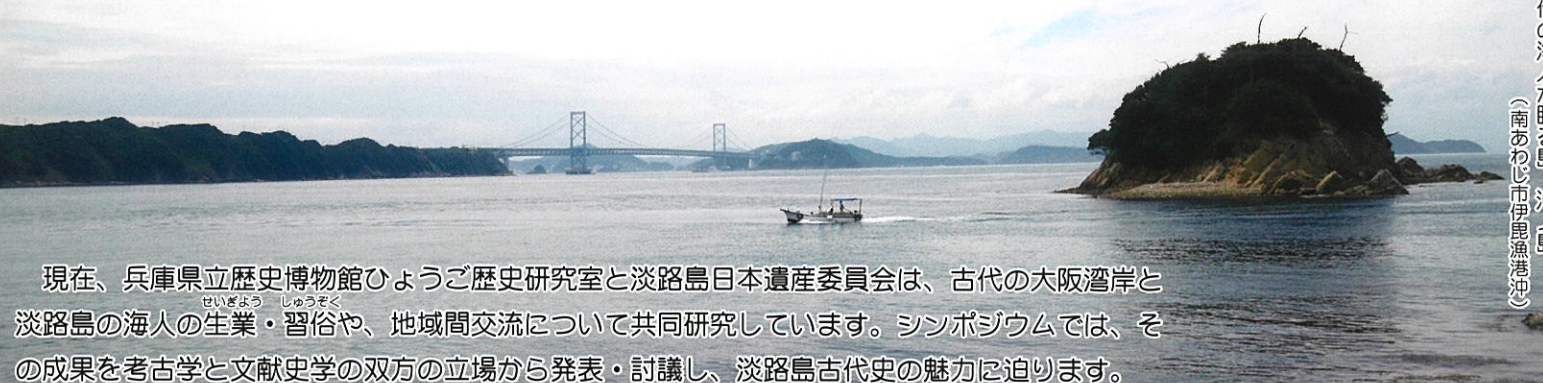
古市 晃（ひょうご歴史研究室客員研究員／神戸大学）

伊藤 宏幸（ひょうご歴史研究室共同研究員／淡路市教育委員会）

古墳時代の淡路島と大阪湾岸

～海人の生業・習俗・地域間交流～

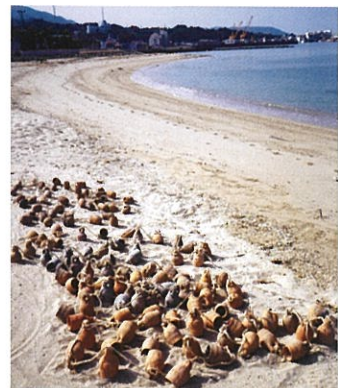
▲古代の海人力販之屋 洲(淡路島)
(南あわじ市伊弉漁港沖)



現在、兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室と淡路島日本遺産委員会は、古代の大阪湾岸と淡路島の海人の生業・習俗や、地域間交流について共同研究しています。シンポジウムでは、その成果を考古学と文献史学の双方の立場から発表・討議し、淡路島古代史の魅力に迫ります。

令和2(2020)年 **2月1日** 土
13時00分～16時30分 正午開場／先着順

入場無料



▲淡路市の富島遺跡出土のイダコ壺 (6～8世紀/兵庫県立考古博物館提供)

会場 洲本市文化体育館文化ホール (固定 548 席) (兵庫県洲本市塩屋 1-1-17 ☎0799-25-3321)

主催 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室
淡路島日本遺産委員会

【構成団体】 洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・淡路市・淡路市教育委員会・淡路県民局 (一財)淡路島くにうみ協会・(一社)淡路島観光協会・(一社)淡路青年会議所

後援 兵庫県立考古博物館



アクセス

- 大阪から
・大阪駅・阪急三番街より高速バスにて「洲本バスセンター」迄約120分
 - 神戸から
・三ノ宮より高速バスにて「洲本バスセンター」迄約80分
・高速舞子より高速バスにて「洲本バスセンター」迄約60分
 - 周辺アクセス
・「洲本バスセンター」より徒歩5分
 - 車で来られる方
・神戸淡路鳴門自動車道「洲本インター」下車施設まで車で約15分
 - ◆収容台数・駐車場140台 [西65台・東75台] 駐輪場収容台数100台
- 施設駐車場は収容台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。近隣の商業施設専用駐車場への駐車は、ご迷惑となりますのでご注意ください。



講演①

和田 晴吾 (兵庫県立考古博物館長)

「漁具からみた大阪湾岸と淡路島の海人」

講演②

坂江 涉 (ひょうご歴史研究室研究コーディネーター)

「記紀の「棹根津日子」伝承と大阪湾岸のウミガメ」

パネルディスカッション

パネリスト

和田 晴吾・坂江 涉

金田 匡史 (洲本市教育委員会生涯学習課文化振興係担当係長)

司会コーディネーター

古市 晃 (ひょうご歴史研究室客員研究員/神戸大学)

伊藤 宏幸 (ひょうご歴史研究室共同研究員/淡路市教育委員会)

令和2年3月1日(日)まで、会場近くの洲本市立淡路文化史料館で、淡路島日本遺産展「古代淡路島の海人と交流 ～青銅・鉄・朱・塩～」を開催中です(入館料 500 円)。あわせてお出かけください。問い合わせ先は、淡路文化史料館まで(電話 0799-24-3331)。洲本バスセンターから、南へ徒歩約 10 分。

兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 姫路市本町68 TEL 079-288-9011

01教②-027A4